





浪水ノミ  
 海ノ屋曲  
 阿ノ庭ノ  
 軒ノ  
 三行  
 元成カ多ク板  
 何カ花ナシ  
 花ノ盛ナリケリ  
 世中ラ道ツケリ  
 此時ケルコト  
 家隆

花ノミヨウハク月ノミヨウハク  
 ノミヨウハク雨ノミヨウハク  
 ノミヨウハク春ノミヨウハク  
 ノミヨウハク花ノミヨウハク  
 ノミヨウハク見ノミヨウハク  
 ノミヨウハク花ノミヨウハク  
 ノミヨウハク花ノミヨウハク  
 ノミヨウハク花ノミヨウハク  
 ノミヨウハク花ノミヨウハク

事カハ  
トトカミヤ  
ヲトノハデス

花とくくしるるるるるるるるるる  
花のあふりるるるるるるるるるる  
まままままままままままま  
この枝うりえくまひるるるるる  
なままままままままままま  
まままままままままままま  
まままままままままままま  
まままままままままままま  
まままままままままままま

花とくくしるるるるるるるるるる  
花のあふりるるるるるるるるるる  
まままままままままままま  
この枝うりえくまひるるるるる  
なままままままままままま  
まままままままままままま  
まままままままままままま  
まままままままままままま  
まままままままままままま



余計  
加茂祭  
三月十日  
又回祭  
甲子甲寅

乃多々祭一祭向祭一祭ち祭り祭あ祭り祭は祭ら祭ず

い祭ち祭な祭ら祭し祭る祭の祭宿祭ま祭さ祭る祭あ祭ら祭ず祭也祭

ま祭た祭ば祭く祭い祭ら祭る祭酒祭の祭物祭く祭い祭さ祭る祭

い祭ち祭ら祭る祭あ祭ら祭し祭る祭枝祭あ祭ら祭る祭

く祭い祭ち祭ら祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

特祭に祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

物祭毎祭に祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭し祭る祭あ祭ら祭る祭

合祭て祭し祭る祭



Handwritten text in cursive script on the left page, featuring several vertical lines of characters. Some characters are written in red ink, including the characters 宿 (shuk) and 賣 (bai).

Handwritten text in cursive script on the right page, continuing the vertical lines of characters. Some characters are written in red ink, including the characters 由 (yu) and 死 (shi).





~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

枕草紙

清少納言(作)

長州

作者部(白)

移社司(長)

芳野(大長州)

上(去)出(家)法(法)

海(上)事(大)

思~~~~~物~~~~~

玉~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

~~~~~物~~~~~

九月

廿

日

玉玉  
九月廿日  
續分  
也

九月廿日  
玉玉  
續分  
也

枇杷

三本院の后河  
堂殿也一カ  
嘉祥元年九月  
三光の御成程  
母の御成程  
アノ草浪全三  
スミエテ所エラ  
根ヲイランタ  
ケル  
右ノカニ江侍後  
玉スミアマン草  
アリテアラ運野  
アレニミルト  
後トイハ  
漫野  
曹蒲名也  
ソトラ夜殿ニ  
カケテヨシ  
カケル  
并ノトル  
アヤ時  
江侍後大江  
衛公赤深合漸  
カ子

寫庸くよむあふのあふりらる侍らるい  
くくおわなわ新とねらひかはる  
瓶のちのいあつらふとたあを  
乃草にありたふとつ侍後ら  
ろ  
家とあふらふあふ松梅生あ  
しうら花らふらふらふらふら  
るあふらふらふらふらふらふら

左近様

昔の梅  
仁明朝  
櫻の梅

くくおわなわ侍らる芳野乃花を  
梅とあふらふあふらふらふら  
しうら花らふらふらふらふら  
くくおわなわ侍らる梅とあ  
いふら花らふらふらふら梅と  
あふら花らふらふらふら梅と  
あふら花らふらふらふら梅と  
あふら花らふらふらふら梅と  
あふら花らふらふらふら梅と



花しるるもはるあしはたなり  
ちるふもしはるあしはる物ハ  
らるぬらぬらるあしはる  
の物あしはるあしはる  
かた<sup>死</sup>らるあしはるあしはる  
らるらるあしはるあしはる  
はるらるあしはるあしはる  
ち<sup>ユレトク</sup>らるあしはるあしはる

えあしはるあしはるあしはる  
はるらるあしはるあしはる  
らる物あしはるあしはる  
らるあしはるあしはるあしはる  
あしはるあしはるあしはる  
あしはるあしはるあしはる

悲田院の青蓮上人は住むる浦なる人  
あしはるあしはるあしはる

悲田院  
古くは中西  
寺の  
名

寺は泉多寺

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper. It consists of approximately 10 lines of text, with some characters highlighted in red ink. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper. It consists of approximately 10 lines of text, with some characters highlighted in red ink. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.



白氏文集  
正和十一年  
正和十一年  
身

初の事... 申す事...  
乃ららるる...  
るるの事...  
よふに...  
その人...  
海...  
事...  
事...

...  
...  
...  
凍解...  
...  
...  
...  
...  
...  
...



心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に

心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に  
心の中に思ひを記し置かば  
器に記さるる下は利に





能<sup>要</sup> *~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

*~~~~~*

要

強面

徳

の神カミなる事コト 後ノチに可カらざる  
あはアハくクなる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト  
の事コト なる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト  
の事コト なる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト

なる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト  
の事コト なる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト  
の事コト なる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト  
の事コト なる事コト 早ハヤくクなる事コト  
よヨくクなる事コト 新ニホくクなる事コト  
たタくクなる事コト 明アカくクなる事コト 先マ人ト



















Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper. The script is highly stylized and difficult to decipher. The text is arranged in approximately 10 lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper. The script is highly stylized and difficult to decipher. The text is arranged in approximately 10 lines across the page.